

討議概要	本日資料
<p>【BIM/CIM活用フォローアップについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 今後、CIMによる生産性向上の効果を定量的に示していくことを検討していただきたい。 ◆ 課題の抽出及び解決方法の検討を的確に行える様、CIM活用事業において、完了した際に結果をフィードバックできるような具体的な仕組みを検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 資料2-2, 3-5で説明（過年度成果の分類と分析、リクワイヤメント成果と今後の検証体制について）
<p>【発注者の意識について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 現場の方と話をして気づくのは、発注者としてモデルを活用していきたいという意識が弱いことである。発注者の意識を高めるようにすることが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 資料3-3で説明（受発注者の育成計画について）
<p>【国際標準化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 土木学会においても国際標準化に係る検討を実施している。国際標準化に対する検討体制において、土木学会とも連携することを検討していただきたい。 ◆ 受発注者間の情報共有を検討するに際しては、英国の基準(British Standard)、ISOなど国際標準も意識しながら検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 資料3-4で説明（国際土木委員会との連携及び国際動向を踏まえたデータ交換等について）
<p>【リクワイヤメントについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ CIM活用事業におけるリクワイヤメントについて、将来的には、CIMを出来形やコストマネジメント、時間管理及び工程管理で利活用することを設定していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 資料3-5で説明（将来的なBIM/CIM推進に必要な技術開発に向けた検証等について）
<p>【オンライン納品・データ利活用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 成果品のオンライン電子納品を検討する際には、押印が必要な提出書類等について電子署名での対応等を検討していただきたい。 ◆ 収集・蓄積された3次元データ等をオープンデータとして利活用する際には、データの瑕疵責任についても検討をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 資料3-2, 3-5で説明（オンライン電子納品の試行方法とデータ利活用に向けた権利関係等の検討等について）